

# おぐに議会だより

第5号

平成23年8月10日



小国チャンネル開始式にクマもん来たる！

写真提供：宮原保育園より

## 平成23年6月議会

- 議長あいさつ・議員研修等 \_\_\_\_\_ P2
- 平成23年度条例改正・補正予算 \_\_\_\_\_ P3
- 平成23年度行政報告他 \_\_\_\_\_ P4
- 一般質問 \_\_\_\_\_ P5~9
- 編集後記他 \_\_\_\_\_ P10

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592

熊本県阿蘇郡小国町宮原1567の1 TEL.0967-46-2119

平成23年度

# 町村議会常任委員長・ 議会運営委員長研修会開催

平成23年7月11日、熊本市町村自治会館にて、町村議会常任委員長及び議会運営委員長研修会が開催されました。

当日は「これからの社会と経済の行方」と題した読売テレビ元解説委員長の辛坊治郎氏による講演が行われました。

講演で辛坊氏は、「現代は、常識が通用しない



時代になって来ている。新聞記事も裏を取って



いない内容がある。だからこそ、解釈まで人に頼ると大変な事になる。言葉は武器にもなるが花束にもなる」と語りました。それと同時に「人生は聞く事から始めても良いと思う」とも述べました。確かにそうであると再認識しました。

## 議長就任挨拶

5月10日に開かれた臨時議会にて、議員各位のご推挙をいただき議長のと任することになりました。

身に余る光栄に存じますとともに、責任の重大さをひしひしと感じているところでございます。

町が光ファイバー網整備の導入完了に伴い、町民の皆様が様々な町の情報を得ることになり、生活環境の向上と高度情報化社会に順応できることを期待しています。

地域活性化・財政改革の推進等の課題が山積いたしております。依然として厳しい財政状況ではありますが、現状を踏まえ議会のま

とめ役として、あるいは、行政とのパイプ役として、町政発展のため尽力する覚悟でございます。

今後とも、皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

小国町議会議長

高村 祝次



# 平成23年度予算の補正

一般会計補正予算(第1号)  
232,732千円を追加し、  
総額4,823,732千円とする

## 6月議会の主な補正(抜粋)

◎地域エネルギー費

8,000,000円

※普及しつつある電気自動車用急速・普通充電器設置工事等の費用です。

◎有害鳥獣防除柵設置事業補助金

1,000,000円

◎小中学校体育館改修工事

7,400,000円

◎開発センター改修工事

4,680,000円

◎林間広場改修工事

3,850,000円

老人保健特別会計補正予算(第1号)

97千円を追加し、

総額390千円とする

介護保険特別会計補正予算(第1号)

143千円を追加し、

総額812,070千円とする

坂本善三美術館特別会計補正予算

(第1号)

総額14,858千円とする

※一般会計からの繰り入れを800千円減額、雑収入を800千円増額。

## 条例改正

- 小国町税条例の一部を改正する条例について・・・東日本大震災被災者が転籍してきた場合の軽減措置
- 小国町農産物等加工試作施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する……………手作りの館の使用時間変更
- ゆうステーションの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について……………電動自転車導入による使用料設定
- 小国町光ファイバーネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について……………CATV指定工事店の登録料の設定
- 熊本縣市町村総合事務組合理約の一部変更について……………玉名市と多良木町の公立病院の名称変更

## 6月定例会 賛否の公表

議案番号	事件名	採決結果	原山	梅木	奴留湯	児玉	北里	松崎	松本	穴井	時松	渡邊	北里	高村
			光成	隆志	哲宣	智博	勝義	俊一	明雄	帝史	唯一	誠次	邦治	祝次
議案第40号	小国町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	小国町農産物等加工施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	ゆうステーションの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	小国町光ファイバーネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	熊本縣市町村総合事務組合理約の一部変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	平成23年度小国町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	平成23年度小国町老人保健特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	平成23年度小国町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	平成23年度小国町坂本善三美術館特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成  
×…反対

※議長は採決に加わりません。

# 行政報告

平成22年度小国町一般会計費用を23年度へ繰り越し、以下のような事業を実施します。

- 庁舎相談会議室等増設改修事業 25,000千円
  - 老人ホーム屋根漏水防止等事業 12,000千円
  - 第一小国学園新築事業 256,000千円
  - 農業用水路整備事業 15,000千円
  - 鍋ヶ滝公園整備事業 41,500千円
  - 総合交流促進センター  
温泉棟改修事業 12,600千円
  - 町道維持補修事業 39,300千円
  - 町道改良事業 107,600千円
  - 学校施設整備事業 10,500千円
  - 土木施設災害復旧事業 62,630千円
- 総額 378,320千円

## 小国町議会委員構成表

議席番号	氏名	常任委員会		議会 運営委員	特別委員会 広 報	病院組合 協議会議員	広域行政 事務組合 協議会議員	共有財産 協議会 委員	まちづくり 審議会 委員	上下水道 運営 審議会 委員	国保運営 協議会 委員	小国町 議員選出 監査委員
		総務文教福祉 常任委員	産業 常任委員									
		5人	6人	5人	4人	4人	3人	3人	2人	2人	2人	1人
議長 12	高村祝次											
副議長 1	原山光成		○	○		○		○				
2	梅木隆志	○			副		○		○			
3	奴留湯哲宣		正	○	○	○					○	
4	児玉智博		○		○					○	○	
5	北里勝義	正		○						○		
6	松崎俊一	○						○				○
7	松本明雄		副			○	○					
8	穴井帝史		○	副					○			
9	時松唯一	副		正			○					
10	渡邊誠次		○		正			○				
11	北里邦治	○				○						

※5月11日の初議会において、各委員会の構成が決定しました。

## 防災計画・再生可能エネルギーの活用・国民健康保険について

児玉 智博



中であるが、行政としても責任を持って対応していきたい。

【町長】 一般家庭向けの太陽熱温水器や太陽光発電機の設置促進のための補助を行う考えはないか。

【町長】 太陽光パネルは次の当初予算で計上させて頂ければと思う。温水器については、かなり町内でも普及しているの、現在のところは検討していない。

【町長】 国民健康保険法第44条では、保険者は特別の事由で一部負担金を支払う事が困難であると認める被保険者に対し、一部負担金の減免及び徴収を猶予出来ると定められている。

小国町では、要綱すら定められていないのはなぜか。

【健康福祉課長】 これま

でも他の医療費減免があったが、災害や急に解雇された場合、一部負担金の負担が困難になった時、十分対応出来ていないので、要綱が必要と考えている。



写真=5月23日、宮城県東松島市、議員撮影

【町長】 大震災の後には、仮設住宅の用地が不足するので、桜ヶ丘住宅の撤去した後の土地と町有地の活用をして頂きたい。

【町長】 例えば切原の町有地など、広い町有地をこれから調査していきたい。

## 東北大震災を踏まえて小国町の防災について

松本 明雄



【総務課長】 良い提案なので、そういうグループがあるか調べて取り組みたい。

【町長】 緊急搬送用ヘリコプター（ひばり）の離着陸場所（木魂館）が病院から遠いと思う。騒音問題もあると思うが、出来れば近くに變更出来ないか。

【総務課長】 町の中で適地を検討していきたい。

【町長】 小水力発電が県内の一部でも既に設置、稼働している。小国町において町長はどのように考えているか。

【町長】 これからの時代に再生可能エネルギーは必要と思っているの、検討したい。

【総務課長】 林間広場の脇の敷地とひばりヶ丘、桜ヶ丘住宅の撤去した土地を考えている。

【町長】 災害時の物資の輸送にオフロードバイクの活用を考えていたいただきたい。また、防災組織の中にアマチュア無線隊のように民間での協力が出来ないか。

【町長】 オフロードバイクについては、確かに町道などが崩壊をして集落まで行けない時有効と思う。安全確保の上、検討していきたい。

【町長】 東日本大震災を契機に全国でも防災に対する取り組みが大きくなり見直されることになると思うが、小国町では避難所、避難経路等の防災マップの再検討、住民や公共・民間施設等への周知徹底体制、災害用品の備蓄・準備は十分か。

【町長】 小国町は今まで地震を想定した災害対策をあまり検討してこなかった。現在、地震に対しての避難経路の確立・備蓄関係など見直そうという動きに至っている。まだ検討

## 小国町農林業産品の開発、小国ブランド化 下城滝遊歩道改修について

渡邊 誠次



より、生産の供給量のバランス、小国町の産品の活性化、イメージ戦略、ブランド化、雇用等、波及効果は高い。農商工連携による小国全体の6次産業化についてどう考えるか。

**問** 新規作物の導入(新商品の開発、特産品の開発)について、どう関わってきたのか?

**【町長】** 酪農品は開発してきた。今後も、J Aや各関係者と連携をし、農家所得を上げることが第一に多種少品目を念頭において取り組んでいく。

**問** 特産品の開発により、個性ある小国町のブランドづくりが広報展開できる。又、林産品の開発等も同様である。6次産業を小国町全体で取り組む考えの下、加工施設の建設に

**【町長】** 主幹産業の農業ため、慎重且つ大胆に進めていきたい。

**問** 下城滝の遊歩道の現状を尋ねる。地元では、心の駅での観光客へのもてなし、銀杏のライトアップ、環境整備等、活発に活動している。こうした地元を愛して、大切にしている人たちを応援していくことも必要ではないか。

**【町長】** 山腹崩壊が大きく難解。治山を含め、地元との協議を進めている。



放牧中のジャージー牛(写真提供:小国ツーリズム協会)

**問** 鍋が滝の整備及び、下滴水線の改良について

**【町長】** 滝の整備については22、23年度の二カ年間で整備を行う予定で、本年度中に遊歩道の残りトイレの整備を行う。下滴水線の改良は旧蓬菜小入口(下鶴橋までの770mを、21年、25年の五カ年で行う予定)。  
**問** 小国町の農業、特に野菜の生産額はここ十年で三割程度減少しているが、町としてどう考えているのか。

## 鍋が滝の整備と町の農業振興 政策について

梅木 隆志



達障害が増えてきているが、小国町の現状、また対策はどうしているのか。

**【町長】** J Aや土づくりグループ等との連携を図っていきたい。また、新規作物の試験的導入には、町として一定の助成を考えていきたい。

**問** 新規品目や新技術の導入のためには農業普及センターや県の研究機関との連携が必要ではないか。

**【町長】** 農業普及センターや研究所には、現場に入っていたら、農家への助言や講習会等を通じ農家との交流を積極的に働き掛けていく。  
**問** 近年、自閉症や学習障害などの子供の発

**【健康福祉課長】** 小国町でも療育の必要な子供が増えている。療育支援は早い時期から実施することが大切。保育園と保健師が連携して、保護者との相談を進めている。

**【教育長】** 小中学校では、特別支援学級の生徒だけでなく、生徒全体にも支援できるよう、支援教員および生活支援教員を配置している。



鍋ヶ滝

## 行財政の改革並びに健全化、体育施設の活用と地域振興

松崎 俊一



【町長】 行財政の改革並びに健全化問題は、古くは奈良・江戸時代などにも行われてきた永遠の課題。所信表明の「効率的、効果的な財政運営の取り組み」についてどのように進めるのか。

【町長】 前期の前半2年は、財政健全化に取り組み、後半の2年は積極財政に取り組んだ。今後、節約を心がけ、効率的な行財政運営を議会と一緒に進めたい。

【町長】 体育関係者が、各競技大会の誘致、練習

試合の開催など積極的に行えば、競技力の向上はもとより、宿泊施設の利用、観光地の宣伝、観光関連施設での買い物、地元産品のPRなど、地域経済に対する波及効果もあるのではないかと。

【町長】 卓球、バスケット、ソフトボール、柔道の大会など年間千人以上の参加があるので、今後も各協会と取り組んでいきたい。

【町長】 体育史や町史の編纂は、過去を知り、現在に取り組み、未来に成果を残すことにつながるのではないかと。

【教委事務局長】 各協会にも問い合わせ、今後検討したい。

【町長】 職員の接遇の研修はどのように行われているのか。

【会計管理者・住民課長】

入りやすい役場、あいさつの励行、迅速対応を心がけたい。笑顔、お客様への声掛けも更に推進したい。



【町長】 東日本大震災により原子力発電の見直しが目ざされており、今後は、国としても自然エネルギーへの移行が進んでいくと思われるが、今後の小国町のエネルギー政策についてどう考えているか。

## 東日本震災を踏まえて小国町のエネルギー政策について

帝史

【町長】 小規模水力発電・風力発電その他、再生可能なエネルギーを取り組んでいきたい。当然ながら地熱発電についても考えていきたいが、大規模な発電ではなくバイナリー発電等、まず熱利用の方向性で検討したい。

【町長】 過去と現在では状況も異なるが、地熱発電において見直しの考えはあるのか。

【町長】 大事な点は事業主体に行政がなるべきか、民間が業者と連携して行うべきか、望ましい方向性を慎重に考えさせてもらいたい。

【町長】 町の企業誘致にもつながるのではないかと。

【商工企業促進課長】 地熱エネルギーに関して、いくつかの問い合わせがきていますが、まだ進んでいないのが実状。地熱エネルギーは地域の資源であり、町の資源でもあり、国の資源でもあるという国の考え等も考慮していきたい。

【総務課長】 まちづくり条例に基づき、バイナリー発電のボーリング申請が出ていますが、その辺りも含めて議論したい。



## 人事異動に評価方式の採用を

時松 唯一



○ 人事異動をどのような基準で行っているのか基本的な考えについて。

【町長】若い時期にいろいろな分野を経験させる。明格な基準はないが、町民に影響を与えない人事を心がけている。

○ 新人職員の研修について実務研修が必要と思うが、担当課から報告を受け指導教育をしているのか。

【町長】総務課及び町長によって教育は実施している。実務体験については実施したいと思

うが、限られた職員であるため出来ない状況である。

○ 小国町総合計画の行財政関連の中で（平成20年度）職員数が他町より多く将来の負担率が高いが、財政運営上の課題である。どう考えているか。

【総務課長】現状では適正である。類似団体には当町ほどの施設がない。将来的課題であり行財政改革をしっかりとやっていくことが必要である。

○ 公営住宅入居者について行政機関勤務者の入居についてどのような指導をしているのか。

【町長】現在、小国町行政職員にはいない。他の行政関係職員はいるが、所得に応じて徴収

している。小国町行政にはいない。

【建設課長】特別な場合を除いて収入基準がある。収入超過をした時には明け渡しの努力義務をするような通知をしている。

○ 行政評価システムについて、町長の考えは。

【町長】当面は議会等で審議も行っていることから現在のままで考えている。



小国公立病院

○ 急激な医療費の高騰に対応すべく国保会計では、基金を積立しているが現在の積立残高

## 国民健康保険税について

北里 邦治



は。また、基本的な考え方としてどの程度の基金積立金が必要と思われるのか。

【町長】現在の基金積立金は6千9百万円となっている。一時的には3億を超える基金もあったが、医療費の高騰に対応すべく基金を取り崩し、保険税の値上げ抑制に努めてきた。医療費の支払いに不安が生じないよう最低でも1億円を超える基金が必要だと思

っている。

○ 先の臨時議会において、保険税の最高限

度額を50万から51万に引き上げられた事が保険税の増税につながるのと同僚議員から意見があったが、私自身はそうは思わない。小国町の国民健康保険税が高いとよく言われるが、本当のところはどうなのか。

【町長】今回の改正は、中間層や低所得者層の負担を軽減し、その分を高所得者にお願するものであって、保険税全体を引き上げるものではないことをご理解してほしい。

【健康福祉課長】保険税は色々な条件等があり、一概に比較できるものではないと思うが、阿蘇郡内では一番低い金額になっていると思う。

## 町有地の管理は計画的な実施が必要

奴留湯 哲宣



**問** 町有地には、道路敷地があるが、新設道路ができ、使用しなくなった旧道路の管理はどのようなに行っているのか。点検等は行っているのか。

**【建設課長】** 旧道は廃止手続きを行い、普通財産になったりしている。点検は行っていない、要望があるときだけ現地に行ってみているので。確かに不備が生じる場所もあると思う。調査し対応したい。

**問** 路線の点検をすることにより、近隣の人の安全が守られると思

う。チェックポイントを設け、年一回の点検をお願いしたい。

**【町長】** 町有地が多くあり、現在の職員では対応できていないのが現状です。今後、人家のある町有地などを優先順位を決め点検の工夫をしたい。

**問** 次に住宅の管理について、空地や草刈りの管理はどうしているのか。

**【建設課長】** 空地に関しては砂利等を入れ草が生えないようにし、住宅在住者の方々に草刈りは行ってもらっている。

**問** 住宅在住者は高齢になり草刈りも大変だし、刈っても草がそのままだったりするので、火災の心配がある。年二回程の草刈りをしてほしいと要望があるがどうか。

**【建設課長】** 見回りなど徹底し、対応を検討します。

※他、町の所有バスの導入の要望。環境省補助による生ごみ堆肥化の導入の要望など。



使われなくなった旧道



**問** 町の現状は町民の所得が低く、人口減など非常に厳しい。議会も産業活性化特別委員会を立ち上げ、汗を流さなければいけないと考えているところだ。

## 町の経済浮揚のために

原山 光成

執行部も外貨を稼げる町づくりのために施策は何でも実行して欲しい。今後、任期中、町浮揚のために集中して質問を続けていきたい。その第一だが秋祭を産業祭にしたらどうか。

**【町長】** 秋祭は賑やかさを取り戻しつつあると思う。秋祭も産業祭の形になりつつある。町の活性化に繋がる施策を進めていきたい。

**問** 家庭菜園を町内に勧めて商品化を図り産業祭で即売したらどうか。また、商品化した産物を町で審査して、商品のブランド化を図ったらどうか。

**【町長】** それも町活性化のアイデアの一つと思う。検討してみたい。

**問** 東北大地震で東北のある町の町長が、その町の杉で仮設住宅を



昨年の秋祭りの様子

作り好評と聞いた。小国町も小国杉使用の災害用仮設住宅を設計してモデルをつくり、小国林業のPRに使用したらどうか。

**【町長】** 森林組合など林業関係団体と協議してみたい。

**問** グリーンロードの工事は完全に終わったのか。市井野―片田間を結ぶ対岸線は工事に使用した仮設ブロックが残っている。

**【建設課長】** 工事は終わっている。実情は調査してみたい。

## 小国町教育委員を同意

小国町教育委員の任期満了と辞任に伴い、新たに2名の教育委員を任命しました。

任命の方法は、町から提案された2名を議員の投票により同意され、次の方が

任命（任期は平成27年6月30日まで）

再 北里 香代氏（宮原）  
任命（任期は平成25年3月31日まで）  
新 村上 直行氏（宮原）



## 小国町農業委員を推薦

小国町農業委員の任期が平成23年7月19日で満了することに伴い、議会より新たに次の3名の方を推薦しました。任期は3年間です。

北里 美智子氏（上田）

阿南 美穂氏（下城）

梅木 隆志氏（黒淵）



## 発議

### 産業活性化特別委員会の設置

小国町の産業振興策や農産物直販所の具体的計画などについて調査するための特別委員会設置に関する決議が議員発議され、全会一致で可決されました。

当特別委員会は、議員11名で構成され、また、委員の互選により奴留湯哲宣氏が委員長に決定されました。

## 請願

○国民健康保険財政への国庫負担率を医療費総額の5割に戻すことを求める請願

請願者 阿蘇生活と健康を守る会

小国班長 下城今朝義

紹介議員 児玉 智博

審査結果 賛成少数により不採択



## 季節の草花



### ハルシヤギク

キク科の一年草。名前の「ハルシヤ」の由来は、原産は北アメリカ。明治初期に日本に來たとされる帰化植物。

## 編集後記

5月10日の臨時議会において、広報委員4名が選任され、新体制のもと「議会だより」を発行することに至りました。小国町の現状や、議会の様子など、出来るだけ分かりやすく伝えることが出来るように努力してまいります。

編集の内容的にも技術の向上に取り組み、皆様のご意見を賜りながら、親しみやすい「議会だより」づくりを目指したいと思っております。よろしくお願いいたします。

## 広報特別委員会

委員長 渡邊 誠次  
副委員長 梅木 隆志  
委員 奴留湯 哲宣  
        児玉 智博  
発行責任者  
議長 高村 祝次